

## 【北陸管内の採択課題の概要】

研究開発課題名	研究代表者	研究分担者	概要	期間
自動運転自動車の地域振興への活用に向けた研究開発	菅沼 直樹 (金沢大学)	高山 純一 藤生 慎 (金沢大学)	ICT技術を活用して構築した高度な運転知識を持つ自動運転自動車を用いて、市街地を含む公道で自律的に走行させるために、最も困難かつ重要な高精度かつ信頼性の高い自己位置推定(ハイディペンドブルローカリゼーション)を実現する技術開発を行い、市街地を含む一般公道における自動運転の実証実験を実施する。また交通シミュレーションシステムを用いて、自動運転自動車を効果的に活用し地域振興を適切に図るための検討を行う。	1か年度
眼鏡産業の高付加価値化を目指すアイ・ウェア型レーザー・ディスプレイ超小型化技術の研究開発	勝山 俊夫 (福井大学)	寺田 恵一 (ケイ・エス・ティ・ワールド(株)) 慶光院 利映 (株)メムス・コア) 岩堀 一夫 (株)シャルマン) 福村 康和 (小松電子(株))	眼鏡産業の高付加価値化を念頭に、使い勝手の良い眼鏡型ディスプレイの実現のため、超小型三原色合波光源をベースに、その合波光源にレーザビーム走査部としてのMEMSミラーを集積化して超小型光学エンジンを実現する。さらに、地場産業としての眼鏡フレームの長年蓄積された技術を活用して、実際に眼鏡フレームに光学エンジンを搭載し、外観的には通常の眼鏡と全く変わらないレーザー・ディスプレイの開発を実施する。	1か年度
高齢者の健康自立を支えるコミュニティ形成のための地域情報分析・統合システムの開発	池田 満 (北陸先端科学技術大学院大学)	堀 雅洋 (関西大学) Tu・Bao Ho DAM HieuChi 白肌 邦生 田中 孝治 (北陸先端科学技術大学院大学) 浜崎 優子 (金沢医科大学)	地域と密着した自助・共助を中心とした健康長寿社会の計画策定を支援するために、高齢者の実態データを住民自らが収集するシステムとそこで集められた共助データと医療・介護・福祉に関する行政データを蓄積する統合データベースを開発し、有用性を実証する。また、高齢者の健康状態の変化特性を表す基本指標や地域・生活に依存した環境指標を導出するために、高齢者実態データに対するデータ統合分析システムを開発し、行政の施策や住民の共助コミュニティの効果の可視化を実施する。	1か年度